

令和7年度第1回西伊豆町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和7年12月15日（月） 午前10時～午前11時00分

会 場：西伊豆町保健センター2階会議室

出席者：委員13名（代理4名）、事務局2名、オブザーバー1名（東海自動車㈱）

協議内容（結果）

☑令和8年度運行に係る協議事項について

- ・西海岸線、バサラ峠線を事業者地域幹線系統として運行【承認】
- ・宇久須松崎線を事業者市町単独補助系統（県バス路線維持費助成費補助、町補助路線）として運行【承認】
- ・神田宮ヶ原線、神田松崎線の2系統を町の自主運行とし、事務局提案の運行計画により運行【承認】

☑地域間幹線系統事業評価に関する報告について

- ・地域間幹線系統市町取組シートの内容【承認】

1 開会

【事務局】

年末のお忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。ただいまから、令和7年度第1回西伊豆町地域公共交通会議を開催します。

初めに、委員の任期満了に伴い、町長から委嘱状の交付をさせていただきます。なお、時間の都合上、代表の方1名のみには交付させていただきたいと思います。その他の方におかれましては、事前にお席に委嘱状を配らせていただいておりますので、御了承ください。それでは委員を代表して、青木様、よろしくお願いいたします。

<委嘱状交付>

2 会長挨拶

【事務局】

続きまして、会長である町長から御挨拶申し上げます。

【会長】

本日は、お忙しい中、「西伊豆町地域公共交通会議」に御出席いただき、ありがとうございます。

近年の異常なまでの物価上昇等の影響や、バス運転士の人手不足等により、大変苦しい状況が続いております。この状況を打開する為には、更なる努力が必要で、これ

は公共交通事業者の皆様も同じ考えであることかと思えます。

公共交通の維持は、観光客や地域住民の移動手段を確保する意味において、大変重要な施策の一つではありますが、観光バスを含めたバス利用者の減少に伴い、自主運行バスなどへの財政的負担はかなり大きいものとなっており、維持の方法については、新たな交通手段も含めて、十分議論される必要があると考えます。

議事内容等につきまして、皆様から忌憚のない御意見をいただき、より良い運行方法を検討してまいりたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

3 議事

【事務局】

それでは、これより議事に移ります。議事ですが、西伊豆町地域公共交通会議設置要綱を第4条において、会長が議長になることが定められておりますので、議事進行につきましては会長にお願いをいたします。

【会長】

それでは早速でございますけれども、議事に移らせていただきます。お手元の次第の（1）令和8年度運行に係る協議事項について、次第に沿って担当のほうから説明をさせていただきますと思いますのでよろしくお願いいたします。

（1）令和7年度運行に係る協議事項について

「1. 事業者地域幹線系統」について

【事務局からの説明】

東海バスより令和8～10年度の乗合バス路線の運行について、単独継続困難の申出あり。静岡県生活交通確保対策協議会において令和7年10月14日から28日の間公表されたが、代替運行の申し出は無かった。

国庫補助の適用を受けるには、沿岸市町の地域公共交通会議の承認が必要であることから別紙のとおり協議をお願いしたい。路線としては西海岸線とバサラ峠線の2路線。詳細については事業者から説明。

【事業者からの説明】（東海自動車㈱：土屋 様）

○西海岸線

- ・修善寺駅から船原峠を越え、旧土肥町、西伊豆町を通り、松崎町の松崎を結ぶ54.4kmの長距離路線。
- ・鉄道のない西伊豆地区住民の通勤、通学、通院、買い物等の移動手段として重要な役割を担っている。

- ・土肥温泉、堂ヶ島、松崎等への観光客の足としても欠かすことのできない路線であることから、弊社では幹線系統として位置付けている。
- ・市町を跨いでいる人員は、389 人中 309 人（79.4%）
- ・平成 29 年度から欠損が生じるようになってきたことから、平成 31 年 4 月に大幅なダイヤ改正を行い、大幅な収支改善ができたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度は再び欠損が生じている。コロナ禍の収束により観光客を中心に回復傾向にあるが引き続き収支状況は厳しいものがあることから、国庫補助による支援をいただきたく、申請するものである。

○バサラ峠線

（下田駅～堂ヶ島）

- ・伊豆急下田駅から下田市と松崎町との境となるバサラ峠を越え、松崎、堂ヶ島を結ぶ 30.6 km の長距離路線。
- ・西海岸線同様、鉄道のない西伊豆地区住民の足として重要な役割を担っている。
- ・松崎、堂ヶ島への観光客の足としても欠かすことのできない路線。

（下田駅～宇久須駅）

- ・当該路線は、バサラ峠線のうち宇久須まで運行する路線で、40.1 km の長距離路線。
- ・下田駅～宇久須間については、堂ヶ島までの距離 30.6 km に対し、20% 以上の距離があることから、別路線として 2 路線での申請となる。
- ・利用者は、堂ヶ島までの路線と同様で、さらに堂ヶ島～宇久須間から下田市内への通学、通院等を目的とした理由がある。
- ・市町を跨いでいる人員は、632 人中 458 人（72.4%）
- ・バサラ峠線は、自社路線として運行しており、西伊豆地区の利用者が減少傾向にあったことから、西海岸線とともに平成 31 年 4 月に大幅なダイヤ改正を行い収支改善ができたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度から再び欠損が生じており、国庫補助による支援をいただきたく申請するものである。

「2. 事業者市町単独補助系統」及び「3. 自主運行バス」について

【事務局からの説明】

補助及び自主運行はそれぞれ関連があるため、一括で説明。

○宇久須・松崎線（補助（過疎）バス）

令和 7 年度の宇久須・松崎線の運行方法については、令和 6 年 12 月 18 日に開催した西伊豆町地域公共交通会議において必要不可欠な生活路線として、町から補助金を交付して路線バスの運行を維持することが承認された。地域住民にとって必要不可欠な路線であると認められるため、令和 8 年度も引き続き町からの補助路線として運行を維持したい。

- ・運行本数は 13 本、年間経常収益額 4,748 千円、年間経常費用額 27,910 千円、年間経常損益額 23,162 千円の赤字が見込まれる。これは、昨今の原油価格や車両部品

の高騰による輸送コストの大幅な上昇が要因。

○神田・宮ヶ原線及び神田・松崎線（自主運行バス）

中学校の統合に伴い、令和３年８月２６日開催の西伊豆町地域公共交通会議において、新たに町の自主運行として運行することが承認された。児童、生徒の通学に必要な不可欠であると認められるため、令和８年度も引き続き自主運行バスとして路線の維持をしたい。

- ・神田・宮ヶ原線は、運行本数が６本、年間経常収益額３,８５３千円、年間経常費用額１９,２８２千円、年間経常損益額１５,４２８千円の赤字が見込まれる。また、神田・松崎線は、運行本数が５本、年間経常収益額３,８５０千円、年間経常費用額７,２３９千円、年間経常損益額３,３８８千円の赤字が見込まれる。これは、宇久須・松崎線と同様、昨今の原油価格や車両部品の高騰により運輸コストの大幅な上昇が要因。

<質疑応答>

【会長】

それではただいま事務局からの説明と東海バスさんからの説明が終わりました。何か御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【委員】

中学校統合に伴う校舎解体についての質問。公共交通に関係ないため省略。

【会長】

他に何か御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

（質問なし）

【会長】

それでは特にないようですので、この案件について承認の採決を行わせていただきたいと思います。今、説明のありました令和８年度運行に係る協議事項につきまして、御承認をいただける方は、恐縮ですが、挙手をお願い出来ますでしょうか。

（挙手全員）

【会長】

ありがとうございます。挙手全員です。よって、令和８年度運行に係る協議事項については本案のとおり承認をされました。

⇒令和８年度運行について、事務局提案のとおり承認。

- ・西海岸線、バサラ峠線を事業者地域幹線系統（国庫補助路線）として運行。

- ・宇久須・松崎線を事業者市町単独補助系統（県バス路線維持助成費補助及び町補助路線）として運行。
- ・神田・宮ヶ原線及び神田・松崎線の２系統を町の自主運行として運行。

【会長】

それでは続きまして、（２）地域間幹線系統事業評価に関する報告についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

（２）地域間幹線系統事業評価に関する報告について

<静岡県及び事務局からの説明>

【事務局】

それでは、地域幹線系統の事業評価に関する報告ということですが、静岡県の会議で評価済みである報告等も合わせて行わせていただきます。皆様に承認の採決をいただきますのは、その内の町の取り組みの部分、別添 10 の地域間幹線系統市町取組シートの内容だけとなりますので、御承知置きください。

それでは、初めに静岡県の田中様に御説明をお願いいたします。

【静岡県からの説明】（静岡県：田中 様）

承認の採決の対象外のため省略

【事務局からの説明】

○地域間幹線系統市町取組シート

取組みの対象となるのは西海岸線とバサラ峠線で、取組みの内容はどちらも同じ。

- ・西伊豆町交通費助成事業によりバス券を販売・交付し、利用促進を図った。

バス券は西伊豆東海バスの運行圏内において利用可能

高齢者(70 歳以上もしくは 65 歳以上で運転免許を返納した者が対象)

100 円券×10 枚(1,000 円分)を 500 円で販売。

障害者(重度障害者 1・2 級対象)

100 円券×10 枚×18 セット(18,000 円分)を交付。

(注：バス・タクシー・ガソリン券の内から申請者が選択。)

- ・時刻表の各戸配布を行い、利用促進を図った。

<質疑応答>

【会長】

ただいま、議事の（２）についての説明が終わりました。この件につきまして、何か御質問等がございましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

西伊豆町交通費助成事業について、バス券の販売実績と購入者の傾向を教えてください。

【事務局】

すみませんが実績数値などが現在手元にないため、後日回答させていただきます。

【会長】

他に何か御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

(質問なし)

【会長】

それでは、特にないようですので、この案件について承認の採決を行わせていただきたいと思います。今説明のありました地域間幹線系統事業評価に関する報告につきまして、御承認をいただける方は、恐縮ですが、挙手をお願い出来ますでしょうか。

(挙手全員)

【会長】

ありがとうございます。挙手全員です。よって、地域間幹線系統事業評価に関する報告につきましては、本案のとおり承認をされました。

⇒地域間幹線系統市町取組シートの内容について、事務局提案のとおり承認。

- ・西伊豆町交通費助成事業によりバス券を販売・交付し、利用促進を図った。
- ・時刻表の各戸配布を行い、利用促進を図った。

(3) その他

【会長】

続きまして(3)その他に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局からの説明】

承認の採決の対象外のため省略

【会長】

これで議事につきましては全て終了いたしました。円滑な進行に御協力をいただき、誠にありがとうございました。進行を事務局に戻したいと思います。

4 閉会

【事務局】

会長、ありがとうございました。それでは、これをもちまして令和7年度第1回西伊豆町地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。